

# 裁判員等経験者意見交換会開催概要

松江地方裁判所

開催日：令和7年12月18日（木）

参加者：裁判員等経験者4名、裁判官2名、検察官1名及び弁護士1名

裁判員等経験者の皆様と振り返りを行うなどして、分かりやすい審理の在り方を検討し、今後の裁判員制度の運用の参考とするため、意見交換会を実施しました。



## 1. 裁判員裁判に参加した感想や印象

- 「まさか自分が選ばれるとは・・・」という驚きと緊張が大きかったが、参加してみると非常に貴重な経験であった。
- 初日は緊張が強く、内容が頭に入らないほどであったが、裁判官の丁寧な説明により安心して臨むことができた。
- 多様な職業・価値観の人と議論することで、自分にはない視点を得られ、日常生活でも物事を多面的に考えるようになった。
- 守秘義務の範囲が分かりにくく、周囲に経験をどう伝えてよいか迷った。話してよい内容を明確に示してほしい。
- 番号で呼ばれるため距離感が縮まりにくいと感じた。プライバシー保護は理解できるが、打ち解けやすい工夫があるとよいと思う。
- 選任日の段階で、法廷内での簡単な説明や座席配置の案内があると、初日の不安が軽減されると思う。

## 2. 審理の在り方について

（冒頭陳述について）

- 検察官の冒頭陳述メモは理解の助けになり、後の議論でも活用しやすかった。
- もう少し被告人の背景や主張について知りたかった。

（証拠調べ・論告・弁論について）

- 証拠書類の読み上げが速く、モニターとメモを同時に追うのが難しかった。もう少しゆっくり進めてほしい。
- 証人尋問や被告人質問は理解しやすかったが、メモが追いつかない場面があった。
- 事件によっては、被害者・被告人・証人の話をもう少し詳しく聞きたいと感じた。
- 検察官・弁護人双方の論告・弁論は、結論に至る理由が分かりやすく、評議に入りやすかった。

### 3.評議の在り方について

- 裁判官が専門用語をかみ砕いて説明し、裁判員の意見を丁寧に引き出してくれたため、安心して発言できた。
- 裁判官が冷静に過去の事例や量刑の考え方を説明してくれたことで、判断の基準が理解しやすかった。
- 意見の違いがあっても、裁判官が意図を汲み取りながら整理してくれたため、円滑に議論が進んだ。
- 評議の時間は十分であったが、事件によっては半日程度の「考える時間」があるとより深く検討できると感じた。



### 4.裁判員制度の周知についての御意見

- 企業の理解が不十分な場合、休暇取得に苦労する。裁判員休暇制度の普及や経営者層への周知が必要ではないか。
- SNSや動画など、若い世代に届きやすい媒体を活用した広報が有効ではないか。
- 裁判員経験者が企業や地域で話せる機会を設けると、制度理解が広がると思う。
- 学校教育で制度を学んだ若い世代は関心が高い。教育現場との連携をさらに進めてはどうか。

御参加いただいた皆様、  
貴重な御意見をいただき大変ありがとうございました。  
皆様の御意見を今後の裁判員裁判に活かしていきたいと思いを。

